
 2021年12月4日 

## ベトナム ナムディン看護大学とのオンライン交流会

本学は、ベトナム国ナムディン看護大学およびベトナム国立栄養研究所との相互交流を通じて学術と教育の向上を図ることを目的に、2018年9月24日にナムディンにおいて交流協定を締結しました。今回、栄養学科 鹿内彩子准教授と三好美紀准教授のコーディネートのもと「Dietary issues for people in COVID pandemic」をテーマとするオンラインミーティングを開催したので報告します。

日時： 2021年12月4日(土)11:00~13:00(日本時間)

参加者：

青森県立保健大学 6名(鹿内准教授、三好准教授、大学院生1名、卒業生1名、4年生2名)

ナムディン看護大学 22名(Dr. Vu Thi Thu Hien、他教員5名、4年生12名、3年生4名)

各校のコーディネーター教員が参加者を紹介し、続いてナムディン看護大学4年生3名より卒業研究のプレゼンテーションおよび質疑応答を行いました。本学からも鹿内ゼミ学生のコロナ禍のキャンボジアで開発した栄養教育媒体開発をテーマとした卒業研究を紹介しました。参加した全員が先方の発表に内容にも興味を示し、積極的に質問や感想を伝えていました。また、本学から参加した4年生のうち1名は、2019年9月に初めてナムディンを訪れ交流した栄養学科の在学学生であり、ナムディンの学生たちと久しぶりの旧交を温めていました。



画面の向こうのナムディン看護大学の皆さんと交流中♪

先方の担当教員 Dr. Vu Thi Thu Hien からは、「コロナが落ち着き、2019 年に実施した訪問交流を再開できればよいのですが、そうでなくても、できれば 3～4 か月に 1 回くらいオンラインでのミーティングなどできるとよいですね」というご提案などいただきました。また、交流内容の要望として、「(ベトナムでは、栄養士として働く職場がまだ少なく、どの様に日本の栄養士がそれぞれの職域で働いているか想像できないため)日本の栄養士の働いている状況など是非、共有いただきたい」との話もありました。

以上のように、今後の交流にも言及があり、学生と教員にとっても大変有意義な交流会となりました。今後も、学生にとって満足のできるような「学び」のある交流・企画を考えていきたいと思えます。

国際交流支援チーム